



## 気仙沼市立新病院落成式典

10月22日に医療関係者等、約100人が出席し、気仙沼市立新病院落成式典が開催されました。



式典では、病院管理者である菅原市長のあいさつに続き、関係地権者等への感謝状贈呈、関係者でのテープカットが行われ、式典終了後には、一般市民向けの内覧会が行われました。新病院は、鉄骨鉄筋コンクリート造、地上6階、地下1階延べ床面積は約2万8千5百平方メートル。診療科目は旧病院と同じ18科、1階が外来診療、2階が手術室やリハビリテーション室、3～6階が入院病棟、地下1階には看護専門学校が入ります。建物は免震構造で、敷地にはヘリポートを備え、災害への備えも強化されました。

入院患者の移送は10月29日に無事終了し、11月2日には、外来診療が始まりました。

## 感染症予防対策セミナーが開催されました!

10月31日に気仙沼保健所主催で「感染症予防対策セミナー」が開催されました。

今回は、東北大学大学院医学系研究科の吉田真紀子先生をお招きし、乳幼児から小学生までの子どもに関わる関係者等を対象に、今後流行シーズンを迎える感染性胃腸炎やインフルエンザ等についてお話いただきました。その後、安全な吐物処理や正しい个人防护服の着脱の演習を行い、感染防止のための具体的な対応方法について助言をいただきました。

先生のわかりやすいお話に、「感染症への理解が深まった」「吐物処理方法など活用していきたい」などの声が寄せられ、感染症の流行時期を前に予防への意識を高めることができました。



## コラム 食品の栄養成分表示はご存じですか?

皆さんは食品を買うときにどんな情報を参考にしていますか。食品の包装やパッケージには賞味期限や消費期限、名称、原材料、添加物、エネルギー、栄養成分等一定の情報を記すことが定められています。この食品表示に関するルールは、これまで3つの法律で定められていましたが、よりわかりやすい制度とするために「食品表示法」に統一され、平成27年4月1日に施行されました。

<栄養成分表示の例>



栄養成分表示	
1食(50g)当たり	
エネルギー	211kcal
たんぱく質	6.7g
脂質	9.7g
炭水化物	29.5g
食塩相当量	3.3g

○容器包装に入れられた加工食品には、エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量の5成分が示されるようになります。)

### 食品の表示を健康づくりに活用しよう!

血圧が高いかしら。  
塩分を控えないと…



塩分相当量の表示をチェック!



(※加工食品の栄養成分表示に係る経過措置期間は平成32年3月31日です。それまでは移行期間のため、一斉に表示等が変わるものではありません。)

さっそく、身近にある食品の栄養成分表示を見てみましょう! ご自宅で…お買い物のスーパーで…みなさんの健康づくりに役立ててみませんか?

# この人に聞きたい!

南三陸町保健福祉課社会福祉係  
主事 原田 高行さん

気仙沼市・南三陸町には、今も全国から職員さんが派遣されています。今月は兵庫県から派遣され、南三陸町で働いている原田さんにお話を伺いました!



今年4月に兵庫県南あわじ市から参りました。南三陸町保健福祉課で生活保護相談、戦没者の遺族に対する特別弔慰金、臨時福祉給付金等の事務を担当しています。

私は小学生の頃、阪神淡路大震災を経験しました。自宅は新築直後だったことが幸いして倒壊を免れましたが、変わり果てた自宅内や周囲の光景、地割れが起こった小学校のグラウンドに恐怖を覚えました。幸いなことに人的な被害はなかったものの、経済的に苦しい思いをしました。

平成22年3月、縁が有って仙台市を訪れ1ヶ月近く滞在していたことがありました。ちょうど1年後、東日本大震災の報せを聞いた時は耳を疑いました。「何か力になりたい」という気持ちが有りつつも、当時の私はハンチントン舞踏病という難病患者の母を抱え、動くに動けずもどかしい思いをしていました。

南あわじ市役所に採用され、2年前からは南あわじ市福祉事務所で生活保護ケースワーカーとして生活困窮者の支援を行ってきました。自身が経済的に困窮した経験を生かし、相談者の境遇や心情を汲み取ることを最優先事項としてきました。支援を行うと言いながらいろいろな方の人生にお邪魔し、まだまだ未熟ではありますが私自身も成長したと思っています。

去年秋に母が他界し、四十九日を終えた頃南あわじ市から南三陸町の保健福祉課への派遣職員を募集していると聞きました。わずかながら福祉職の経験を積んだことで、7年越しの思いを行動にする時が来ました。私が行う業務は大きなことではなく、町内で直接関わる方しか影響を与えないことが多いです。しかし、直接関わった方には皆笑顔で帰ってもらいたい。そんな気持ちで今日も南三陸町に南あわじ市の風を届けます。

## 老人性難聴者とのコミュニケーション向上研修を開催しました。

11月28日に、管内の自宅における介護サービスを提供する事業者向けに、老人性難聴者とのコミュニケーション向上研修を開催しました。参加者からは「会話の場面で活かせそうだ」などの声が多数寄せられました。以下は、講義内容の一部を紹介します。

年を重ねると聴力が衰え、聞こえにくくなります。高齢者は特に高い音が聞こえにくくなるため、例えば「菊」が「肉」、「加藤さん」が「佐藤さん」に聞こえるなどしてしまいます。また、耳から入る音が減ると、認知機能が低下するリスクも高まると言われております。

聴力の低下は、少しずつ進むために、本人は自覚しにくく、周囲の家族や支援者が気付いて、受診を促すことや、普段から聞き取りやすいように意識して話しかけるなど、理解と配慮も大切です。話しかける際は、なるべく静かな環境で、ゆっくり、はっきりと話すのがよく、大きすぎる声は、かえって聞き取りにくいということも覚えておきましょう。

聞こえなくなっていくことは、「大きい問題」と受け止め、お互いの気持ちが通じ合うことを大切にして、日々のコミュニケーションに役立てていただければと思います。



## 編集後記

最近、朝夕の冷え込みが急に厳しくなりました。冬期の感染症も本格的な流行シーズンを迎えます。体調管理には十分気をつけて、良いお年をお迎えください。(次号は1月の発行予定です。)

↓ご感想・ご意見等としどしお寄せ下さい! ↓

担当：気仙沼保健福祉事務所広報委員会

電話：0226-22-6661

メール：fukahire@pref.miyagi.lg.jp